



さいとう よしのぶ  
齊藤 好信 議員

# 入学準備金の支援をする考えはないか

町長 教育委員会を含めて検討したい

## ふるさと納税を活用した子育て支援について

質問

ふ

るさと納税額は、ここ数年2,000万円

円台で推移していますが、昨年度は約3,600万円と若干伸びてきています。先の議会で町長は、目標として1億円を目指して取り組んでいきたいと答弁されましたが、具体的なビジョンを内部で議論されていすか。また、ふるさと納税の使途の内訳を伺います。次に、継続的な子育て支援を行うていくために「子育て支援基金」の創設の考えはないか見解を伺います。

町長 令和2年度のふるさと納税を含めた寄付実績は、3,583万円、1,670件の心温まるご寄付をいただきました。また、返礼品や、送料などの事務経費は1,326万円となっております。寄付金の使途については、寄付者の意向に沿っ

て、一旦基金に積み立て、後年度、町有林の整備、図書購入、スポーツ少年団の活動支援、ジャンプ選手の育成などに有効活用させていただきます。

次に、子育て支援基金の創設については、現在「木質バイオマス削減効果活用基金」などを活用して、保育料、給食費、中学生までの医療費などに充当しています。また、他の基金でも子育て支援に活用が可能であることから、新たな基金の創設は考えていません。目標額1億円は高い目標ですが、新たな取り組みに挑戦しながら汗をかいていきます。

再質問 各基金を精査し目的に見合ったものに統合する考えはありますか。

副町長 目的が終了した部分については廃止、もしくは統合していきたいと考えています。

再質問 小中学校の入学時

には、様々な準備金がかかりますが、どのくらい子育て世代の経済的負担になっているのか伺います。

教育長 民間保険会社の調査では、小学校入学時で約8万6千円、中学校入学時では約10万円というデータが出ています。

再質問

他

の自治体ではリュックサックのような物を全小学校1年生の入学式に就学支援ということで配っているところがあります。若い子育て世代の方に経済的負担がなるべくかからないように、行政としてもやっっている自治体があります。が、御存知でしょうか。

教育長 東神楽町では一定の物を新入学児童に配っているというような状況も聞いています。それも一つの方法だと言えると思います。本町においては「ばくりっこ」などで子供用品の調

達が可能なようなシステムがあります。児童生徒に関わる物品の取り扱いもしておりますので、有効に活用していただくことが大切なのかと思っています。特に、毎年買い換えのないようなものがあると思いますので、そういった物も「ばくりっこ」などを有効に活用していただければと思います。

再質問

子育て世代の経済的負担軽減の為に、入学時の準備金の支援をする考えはないでしょうか。

町長 本町において将来を担う子供たちがしっかりと教育を受ける体制や環境は作るべきと考えているので、議員の提案につきましては、しっかりと教育委員会含めて検討させていただきたいと思えます。

再質問

力強い答弁をいただきました。手厚く支援ができるよう取り組んでいたきたいと思います。